



代表取締役 安藤 由紀男

あけまして  
おめでとう  
ございます

一昨年9月の開業から1年以上が経過し2回目の新年を迎えることができました。昨年は北沢地区の不法投棄物撤去工事およびエコグリーンとちぎでの受け入れ作業が本格化し、これまでに全体の約45%の撤去工事を完了することができました。また、栃木県内唯一の管理型処分場として県内の事業者様から幅広くご認識いただけるようになりました。

私たちは安全で安心できる美しい最終処分場の維持管理に努めておりますが、地域の皆様のご理解とご協力がなければこのような順調な操業は果たせません。改めまして心より深く御礼申し上げます。

不法投棄物の撤去工事につきましては運搬作業が非常に重要となります。ご協力いただいております運搬会社の皆様にも細心の注意を払いながらご対応していただいておりますが、不法投棄物に限らず栃木県内の産業活動で発生する廃棄物の取扱量も徐々に増加傾向にあります。これらの運搬も含め運搬車両が生活道路を通行することに不安な心持を抱かれた方々が数多くいらっしゃるのではないでしょうか。「声なき声に耳を傾ける」とは申しますが、言葉を発することなく我慢をされていらつしやる方々の気持ちにどれだけの「思い」を「はせる」ことができるのか。私たち事業者のみならず、この事業に携わっている多くの方々がそれぞれの形で心に留めている課題となっております。

私共グループが長年追い求めてきた「ともに生きる」という理念はこうした思いの中から生まれました。今を生きる人々のお気持ちに寄り添うことはもとよりですが、過去を生きさせた人々、そして想像力を働かせてまだ見ぬ未来の人々のお気持ちへ寄り添うことがとても大切であると考えています。人が故郷へ持つ「郷愁」は、人の持つ感情の中で最も深いものであると何かで読んだことがあります。「郷愁」は家族や友人への深い愛情が

もともとなつていてこそ、すべての感情の根源となつてはるはず。そこには生きとし生けるもの全て「命あるもの」への慈しみがあつて、川のせせらぎ、鳥のさえずり、夏の日の虫の音、新緑の木々、月明かりの中で目にする美しい里山の花々や星空、それらは家族の思い出と共に深く美しくあります。さらに日本語には「ご先祖様」という言葉があります。近年

では非常に抽象的あるいは宗教的な意味合いで捉えられることもあるかもしれません。しかし本来は、自らの両親や兄弟にながら心温まる生きた姿として、祖父母や曾祖父父母、多くの肉親の方々の生身の姿、匂いや肌触り感のある現実の姿がそこにはあつたはず。その方々が今を生きる私たちに何を託して何を伝えようとしたのか。それを感じて考えることが本当の生きた意味での「環境」であると思います。

私共が大切にしたい「環境」は、いわゆる「環境保護」といった言葉で語られるものとも異なる視点となります。測定値や数値管理だけでは本来の「環境」の意味を曇らせる恐れがあります。鳥のさえずりも虫の音も聞こえない都心であつても環境計測における数字の世界では数値条件を満たしていることでしょうか。基準値を満たすだけでは何か足りないのではないかと、という感覚は自然なものだと感じています。だからこそ「環境」は守るだけでなく未来に向けて創り出していくものだと考えています。

「ともに生きる」この言葉は、時を超えて「本当に重要なものは何か」を追い求める姿勢を表現したものです。私共はこの姿勢を持ち続け多くの関係者の皆様とともに「環境」を創り出して参りたいと考えています。すでに失われた部分があるかもしれないませんが「環境」を「守るもの」として捉えず、「創り出すもの」として考えれば、時を超えて未来へ託すことができる

と信じています。お正月という節目に、遠く離れたご先祖様に思いをはせ、天を敬い、そして今を生きる皆様と寄り添いながら晴れやかな新年を迎えられることに感謝申し上げます。

末筆とはなりますが、本年も皆様のご協力をお願い申し上げます。ご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

昨年10月に処分場責任者に就任しました宮田です。

平成13年にグループ会社のクリーンテックに入社し、そこで得た技術と経験を生かし、平成29年からはエコグリーンとちぎの立ち上げに携ってきました。運営されている今日に至るまで沢山の方々が関与され、様々な思い、願いが込められている施設であることを目の当たりにし、その責任の重さを感じております。地域の皆様、事業者の皆様、関係行政の皆様から信頼を得られるよう、日々の業務を積み上げて参ります。

余談になりますが、私は東北の小さな町で生まれ育ちました。初めて那珂川町を訪れた時、のどかな田園や清らかな清流が自分の故郷に重なったことを覚えております。那珂川町の歴史や文化、行事などを見て、触れて、学ぶようにしたいです。

処分場責任者  
宮田 昭宏あけまして  
おめでとう  
ございます本年もどうぞよろしく  
お願いいたします

2025





# 那珂川町とともに



## 2024年10月27日 小砂焼き陶芸体験

栃木県特産品百選・栃木県伝統工芸品に指定されている(那珂川町の)小砂焼の窯元である藤田製陶所様にて陶芸体験をしてきました。初めにレクチャーいただき、「さぁ! 回る粘土との対決スタート!」。この粘土の感触がとても気持ち良かったです。

先生にお手伝いいただき、苦戦しながらもなんとか形になりました。そのあと絵付け体験もし、個性豊かな形が並び、皆自身の作品を楽しそうな表情で眺めていました。

体験後には作業場も見学し、粘土になる前の原料も見せていただきました。現在も小砂地区で取れた砂を原料としていただいております。伝統工芸を受け継がれていることに感慨深いものを感じました。

私たちの作品は次号で紹介いたします。乞う! ご期待。



見事な  
お手前!!



写真右 藤田真一様



写真左 藤田悠平様

## 第3回なかがわ清流マラソン大会の結末は?

2024年11月10日(日)開催の「第3回なかがわ清流マラソン大会」にヤル気満々でエントリーし、ロゴマーク付きユニフォーム等、事前準備は万端でしたが、大会前日に膝を痛めて棄権という残念な結果に終わってしまいました。(トホホ)

皆さんと楽しく走りたいため、来年は是非、会場でお会いしましょう!(シニアの有志より)



## 年末煤払いの巻

昨年は多くのお客様の来場機会を得て、「エコグリーンとちぎ」の果たす役割や運営・維持管理状況を広く知っていただけたことに感謝しております。1年間の埃をきれいに落とし、本年も皆様方のご来場を、職員一同、心よりお待ちしております。



## 周辺 環境調査



▲HPIはこちらから

『県営処分場「エコグリーンとちぎ」に係る環境保全協定』に基づき、環境調査を行っています。主に地下水質と空間放射線量率のモニタリングを定期的に行っています。現在、周辺環境の変化は確認されていません。また、詳細については、弊社ホームページに環境保全協定に係る測定結果を掲載しています。左のQRコードからアクセス可能です。



◀◀9月に実施した計量証明機関による採水

お問い合わせ  
相談窓口

株式会社 **クリーンテックとちぎ**  
栃木県那須郡那珂川町和見 1918 番  
TEL.0287-82-7000 Fax.0287-82-7081  
URL: <https://www.clean.ne.jp/tochigi/>